

# 兵庫県商工新聞

編集委員会  
発行  
兵庫県商工団体連合会  
〒652-0811  
神戸市兵庫区新開地4-4-12  
☎(078)341-0563(代)  
FAX (078)341-0885  
http://www.hyoshoren.co.jp/  
Email: info@hyoshoren.co.jp

2019年10月  
第326号

# 補助金使って商売繁盛



人口減少、高齢化などの原因で、地域経済が疲弊する中、地域で経済と雇用を支える小規模事業者の役割は大いに期待されています。その小規模事業者が自らの経営を見直し、さらに発展させるため、2013年度補正予算から「小規模事業持続化補助金」が始まりました。補助金獲得のために、学習を続けている兵庫民商の取り組みを紹介します。

## 部員の声を大切に

兵庫民商事務局次長 平松 大佳

兵庫民商経営金融部 会では毎月部会を開き、会員の商売にプラスになる取り組みや企画を相談しています。異業種交流会で商売の知恵や経験を学びあったり、新春名刺交換会で横のつながりを強めたり、様々な取り組みを継続してきました。

早速、2018年7月20日に灘民商の雨松真希人さん(前兵庫青協会長)を招いて、補助金セミナーを開催。51人が参加し好評でした。開催後、参加者や部員から、「一人で計画書を作るのは難しい」という声があり、事業計画書作成会に取り組み事になりました。

作成会は、同年11月20日から今年4月26日までの全5回で開催。この作成会に

は毎回5人〜8人が参加しています。まず、最初に事務局から10分〜15分程度テーマに関連する事項を報告した後、各参加者から自分の計画書を報告し、作成する上で悩んでいる事などを出してもらいます。そして、アドバイザーや商売の展望などを話し合うスタイルです。5回終了後、小規模事業持続化補助金の公募があり、部長の片山正久さん(家電販売)が申請し、見事「補助金採択通知」が届きました。今後、他の作成会参加者も機会があれば、申請していく予定です。

## 小規模事業持続化補助金に挑戦して

兵庫民商経営金融部長 片山 正久

私は民商で経営金融部長をさせて頂いた。日々の商売の中でお客さまの困っている事や要望を聞いてき

から捻出する必要もない。当然、「貰えるものは貰っておいた方がいい」ということだけでなく、失敗における金銭的リスクがないため、より革新的で大胆なチャレンジの実現にもつながる。「こんな事やってみたい」とい

うアイデアが補助金を活用することで実現できる。補助金獲得には事業計画書の作成が必要となる。多くの補助金で、現在の事業状況を自己分析した「経営計画書」と、補助金獲得後に実行したいことを表示する「補助事業計画書」の2つの計画書の作成が必要となる。

事業計画書の作成は、自身の事業を客観的に見直すきっかけになるだけでなく、既存事業を維持・発展させるために必要なことが明確になる。また、しっかりと事業計画書を作りこむことで、他の様々な補助金や融資の獲得にも活用できるといふ大きなメリットもある。

私が作成した事業内容は、「買い物難民救済、高齢化が進み買い物に行きたくても行けない、今迄できていた事ができない、地域の中で孤立し誰にも相談できない、そういった方々の手足となって活動する事を目的に取り組みます」と記載しました。既存の顧客の需要を掘り起こし、高齢化に備えフレイル予防の観点から居住のバリアフリー化や改修工事など、異業種とタイアップし、安心して暮らせる住環境を整えていきたいと考えています。これから年末迄に補助金を活用し、計画通りの実績をつくっていかなくてはならず、大変です。今後とも、多くの仲間と共に地域に根づいた商売、魅力ある民商活動、運動の継承をめざし頑張ります。

## 消費税 10%

10月消費 税10%ス トップ!兵 庫県ネット ワークは9 月4日、県 宝塚10%ネット宣伝(9月4日) 下24カ所で行い、1時間 人が投票。9割が「増税困る」に貼っていかれました。また、神戸民商は9月5日、「消費税増税はまだ止められる」と、役員・事務局10人が4組で、元町通商店街とモトコー商店街を訪問しました。商店主からは「消費税が上がるば



宝塚10%ネット宣伝(9月4日)

り、1時間で132人が投票。9割が「増税困る」に貼っていかれました。また、神戸民商は9月5日、「消費税増税はまだ止められる」と、役員・事務局10人が4組で、元町通商店街とモトコー商店街を訪問しました。商店主からは「消費税が上がるば

かりで生活は全然良くならない」「51年商売してきた。常連さんに値上げします、なんて言えない」と怒りの声。この日は75軒を訪問し28人分の署名が集まりました。

▼昨年、知り合いの会員の預金が差押えられた。数年前の税務調査で、税務署員の言われるままに資料を見せ、かなりの額の消費税の追徴を受けた。分納をしていたが、一度遅れたため差押えだという▼2017年の新規に滞納された国税の約60%の3633億円が消費税の滞納だ▼多くの個人・法人事業主が、生活を切り詰めてやりくりをして消費税を納めている▼その一方で輸出戻し税は、湖東京至税理士の試算でトヨタ1社に3506億円入ったことになっている。新規の消費税の全滞納額とほぼ一緒の金額というのが偶然にしても恐ろしい。しかも消費税率10%になると、それが単純計算で4382億円に増える。さらに云えば消費税導入以降ほとんど法人税が引き下げられている上でのこと▼今回の増税は、複数税率という厄介者までついている。記帳はどうするのか、税率の違いはどう分けるのか、全く頭が痛い。大企業はますます肥え太り、中小業者にはますます負担が重くなるばかりの税制だ。もう廃止しかない。





# 中小業者の力で地域を元気に



9月7〜8日、「循環型経済の確立で個性豊かな地域社会を」をテーマに、第21回中小商工業全国交流・研究会が長野市で開かれ、参加者から感想を寄せて頂きました。

**木寺 優さん**  
(内装)

分科会は、「地域活性化」をテーマに商業、

サービス業の発展の方向を討議しました。各地の成功体験にふれ課題も知ることができました。長崎・平和町の「まちゼミ」と題しての商店街全体のカルチャースクール化、布施でのインバウンド需要取り込みの商店街ホテル化、長野・門前町の古民家再生による活性化、奈良の「にゃら」とかけた猫に特化した

SNS拡散とガイドマップ作製。私も加古川で一年間、商店街でのコミュニティ運営とイベント企画に参加したことがあり苦勞も実感できました。コミュニティの場を立ち上げること、続けることも大変ですが、郊外在住者だからこそ見える地域商店街の魅力というものが必ずあり、地元の人たちはそれに気づいていないことが多いのです。各町でお互いライバルとなる地域活性化戦国時代突入にむけ、まずは行政、経営者、学生、市民が共に活動してもらえればプレッシャーを集めることが喫緊の課題ではないでしょうか。

の人はその死を悼み亡きながら修善寺に祀りました。それから80年後に対馬と韓国の人が共同して崔益鉉の碑を建てたのです。

日本のかつての戦争を振り返るとき、「被害と加害と抵抗」という三つの視点で見ることが大事だと指摘の声があります。日本国民にあたえた被害とともに相手国民にもたらした事実(日本からいえば加害の事実)を知ること、さらにその被害・加害に対し抵抗した人々が双方の国に存在していた事実、この三つを共有すること。

## 平和と憲法を守ろう

### 被害と加害と抵抗と いまの韓日問題におもう

憲法改悪ストップ兵庫県共同センター

代表 津川知久



長崎県・対馬の厳原に修善寺があります。伊豆の修善寺ほど有名ではないこのお寺に今年から33年前、対馬・韓国の有志によって崔益鉉の「愛国愛民の精神をたたえた」碑が建立

されました。日清・日露の戦争を経過する中で日本は韓国の植民地化を進めました。それに対し崔益鉉は1906年に義兵闘争に立ち上がり、そのために日本軍によって対馬に送られ監禁3年の刑に処せられました。抗議の絶食で最後まで抵抗するも数ヵ月後に死去。すると対馬

まさしにかり。でも、なぜ対馬の人は「日本」に敵対したのか。崔益鉉を厚く埋葬し、のちになって碑まで共同で建てたのでしよう。

江戸時代、日本は朝鮮国と正式な国交を結んでいました。両国の善隣関係を象徴するのが徳川将軍代替わりの際に来日する朝鮮通信使で、その日本側の外交実務を担当したのが対馬藩でした。対馬の人々は韓国の人との友好を長年つみ重ねてきたのです。今の韓日問題の打開の方向を考えると、このヒントがあるように思います。

小林美保子さん (製造)

【神戸西民商】



## 私の商売ものがたり

NO.200

塚本善雄さん 理栄さん (飲食店) 赤穂民商

忠臣蔵で有名な赤穂城の目の前に店を構える鶏のから揚げで有名なパネリストは、定年を過ぎて、過疎地で老人だけだった故郷に戻り、介護事業所を立ち上げられ現在も多方面に事業を広げられている76才の江森けさ子さん。もう一人は、東京でバーテンをしていた成澤篤人さんは、自分の店を持ちたいと生まれ故郷の坂城町に帰り、何もない町を活性化させたいと、フランス料理店やワイナリー工場のオーナーにお二人とも、ふるさとを愛しているということが伝わりました。分科会は北斎の町、小布施町の視察へ。北斎館では江戸時代に描かれた絵画が今も色あせること

となく、北斎の世界へ引き込まれました。岩松院では、八方にらみの天井絵が印象に残っています。最終日、石川文洋さんによる日本縦断の旅のお話には心あたまるものがあり、私にとっても充実した2日間となりました。

9月26日、秋空が広がるなか、全国業者婦人決起集会在兵庫・上野公園で開かれ、全国津々浦々から元気な業者のお母ちゃんたちが集まりました。

兵庫県からも53人が参加し、朝から宣伝行動、国会議員懇談、国会議員要請とフル活動。全国の仲間と一緒に、「10月消費税10%ストップ」「所得税法第56条は廃止を」と怒りの声を上げました。

## 地域に根づく老舗の味

北京楼

〒678-0234 赤穂市加里屋南1-41 ☎0791-42-3454

「懐かしい、昔の味や」と喜んでくれるお客さんの笑顔が何よりの励みです。

## 経営情報

国民年金の滞納者に対し、日本年金機構による「差押え」が活発に。世帯の所得が「300万円」以上あればその対象です。納付が困難な場合は放置せず、保険料免除制度・納付猶予制度を活用しましょう。今年4月より産前産後期間の免除制度が始まりました。年金の相談は民商へ。

## SNS・名刺交換 色んな事にチャレンジ

【兵青協】



8月25日、兵商連会館で兵青協第44回定期総会が開催され38人が参加しました。

総会では、西宮民商青年部長の坂田哲朗さんから継続して取り組んでいる福島訪問の報告があり、福島の実況と福島で起こったことを忘れないためにも今後も

訪問を続けたいと。分科会では、「同日大阪で行われたANT I10%DEMOに参加できなくても、リツイートする事で連帯できる」「兵青協で名刺交換会や女性経営者向けの女子会などの開催を」と多彩な意見が。分科会で出された意見は今後の活動に活かそうとまとめ報告があり、全会一致で方針案を採択。新役員を選出しました。



「懐かしい、昔の味や」と喜んでくれるお客さんの笑顔が何よりの励みです。

4人の子育てをし、一番下の子が高校2年生。「19年間もPTAしてきた」と笑う奥さん。子育て活動など地域活動でもなくてはならないお店です。

(尼崎・矢原編集委員)

## 編集後記

前環境相が福島第一原発の汚染水を「思い切つて海に放出」と言った翌日、「小泉進次郎氏が環境大臣として初入閣」。父親の意志を継いで脱原発に向かって欲しいものだ。SDGsの達成に向けて世界も注目している！ (H)